

組織変革の理論・実践手法としての「組織開発」

実務者と研究者のコミュニティ設立

OD Network Japan (所在地: 東京都港区、代表理事: 西川耕平、略称 ODNJ、URL: <http://www.odnj.org>) は、「組織開発 OD」研究に取り組んできた甲南大学・西川耕平教授ら発起人 15 名により 2010 年 2 月 7 日に設立され、来る 5 月 15 日に第 1 回総会及び設立記念シンポジウム (会場: クロスコープ/東京都港区) を開催します。2014 年秋には海外の「組織開発 (OD)」関連他団体と共催の国際シンポジウムの実施を予定しています。

【世界における「組織開発 (OD)」の動向】

市場経済のグローバル化や急速な技術革新など国際レベルの社会環境の劇的な変化は、きわめて複雑で不確かな経済環境を生み出したため、こうした状況に対応するための「自己変革」が人や組織に求められています。

「組織開発=Organization Development=OD」は 1950 年代以降、変革テーマの一つとして、主に米国と英国を中心に発展してきた理論及び実践体系です。実践・応用に関しては、米国で 1960 年代に OD Network が設立されたのを皮切りに、86 年には欧州において IODA (International OD Associations)、2006 年にはアジアで AODN (Asia OD Network) と OD 普及のためのコミュニティが相次いで設立されました。これら団体は、各地域の文化・歴史的な背景に基づく特色ある展開をしていますが、OD 価値観を共有する OD 実務家 (企業内外の組織変革コンサルタント) と大学・研究機関のリサーチャーとが、変革実践と理論に関する知識・体験を相互共有する場を運営する点は、等しく共通しています。特に近年、これら団体は国際大会共同開催を通じて相互の交流と連携を深める傾向にあります。

日本においては教育研究機関でのわずかな例外を除けば、OD に関する機関的な取り組みは実務家の諸機関や公的機関においてもほとんど実施されていません。そのため OD の国際的なコミュニティで活躍する日本人はまだ多くありません。

【日本初の「組織開発 (OD)」コミュニティの設立】

このような状況の中、甲南大学・西川耕平教授は、Asian OD Network、IODA、Academy of Management 組織開発分科会など国際的な OD のコミュニティに深く関わる稀な日本人研究者として、2008 年春頃から各コミュニティの主要メンバー達と対話を重ね、日本に OD コミュニティがないことを憂い、その設立の必要性を再確認し、国内で設立準備活動を開始しました。

西川教授は、2006 年 1 月から毎月 1 回、総計 40 数回に及ぶ OD の社内勉強会を実施してきた、組織開発コンサルティングの株式会社シー・シー・アイ (本社: 東京都港区、代表取締役: 大島 岳、以下 CCI、URL: <http://www.cci-network.com/>) を中核として、OD に取り組んできた人たちに設立発起人となるよう働きかけ、本年 2 月 7 日に ODNJ を設立しました。代表理事には西川教授、事務局長には大島社長が就任することとなりました。既に 2009 年夏の時点で「2014 年に日本で OD の国際シンポジウムを開催予定」とすることで海外の各コミュニティと合意しています。

ODNJ は、健全な組織の実現を通じた社会の持続的繁栄に貢献することを目的として、企業などの組織内外の OD 実践者（経営者、社内外の組織コンサルタント）や大学・研究機関に所属するリサーチャーなどを会員として組織し、オープンな交流から研鑽を重ねるコミュニティとします。会員は個人に限定し、入会金 5,000 円（税込）、初年度年会費 5,000 円（税込）、次年度以降は年会費 10,000 円（税込）となります。本年 5 月 15 日には第 1 回総会及びシンポジウムを開催します。

ODNJ は、毎月 1 回の会員による研究会、毎年 2 回（春と秋）のシンポジウム開催を企画し、設立 1 年で 100 名の会員獲得を目指します。

■OD Network Japan について

<http://www.odnj.org>

- ・所在地 : 東京都港区南青山 2-29-9-601 株式会社シー・シー・アイ内
- ・代表理事 : 西川 耕平（にしかわ・こうへい） 甲南大学教授
- ・設立 : 2010 年 2 月 7 日
- ・連絡先 : 03-3497-5033

■第 1 回総会、設立記念シンポジウムについて

- ・開催日時 : 2010 年 5 月 15 日（土）13 時～17 時
- ・会 場 : 会場：クロスコープ 〒107-0061 北青山 2-7-26 フジビル 28 5 階
http://crosscoop.com/conference/room_large
- ・参加費 : 一般／5000 円（税込）、会員／3000 円（税込）、懇親会／2000 円（税込）
※当日会員受付有り

■本件に関する報道関係者お問合せ先

- ・OD Network Japan 事務局：担当 平尾・外山
TEL : 03-3497-5033 FAX : 03-3497-5037 E-mail : info@odnj.org

参考資料

1. ODNJ 理事について

◆代表理事 西川耕平（甲南大学 EBA 高等教育研究所・教授）

1956 年生まれ。甲南大学（社会科学部研究科、経営学）博士 1989 年（単位取得満期退学）、滋賀大学修士（経済学研究科、経営学専攻）1982（終了）、南山大学（経営学部、経営学科）1980 年（卒業）、経営学修士（課程）（滋賀大学）。

所属学会：日本経営学会（国内）、組織学会（国内）、Academy of Management（国外）、Association of Japanese Business Studies（国外）、OD Network（国外）。

◆理事 事務局長 大島 岳（株式会社シー・シー・アイ）

1954 年、神奈川県生まれ。OD（＝組織開発）コンサルタント。

大学卒業後、株式会社ビジネスコンサルタントで組織開発をベースにしたコンサルティングに従事する。従来のコンサルティング会社の関わり方にあきたらず、1986 年に創業メンバーとして株式会社シー・シー・アイを設立。現在、代表取締役。

企業経営に不可欠な組織開発の価値観を信条に一業種一社を原則として臨む。10 年、20 年と継続しているクライアントが多いが、最も長く継続している企業は 34 年にも及ぶ。クライアントの企業成長の節目や外部環境に適応する潮目で、一手法に囚われることなく OD のあらゆる手法を駆使して OD 価値観をベースに組織変革に取り組んでいることへの評価の証左。

◆理事 中村和彦（南山大学・人文学部心理人間学科 准教授）

最終学歴は名古屋大学大学院教育学研究科教育心理学専攻後期博士課程。

大学での主な担当科目は人間関係概論、人間関係トレーニング ほか。

長期研究のテーマは体験学習を用いたラボラトリー・トレーニングの基礎研究、フィールドへの応用研究。研究内容は体験学習の理論（体験学習のサイクルの解明、効果に関する研究）、ラボラトリー・トレーニングやファシリテーションをベースとした諸方法による、チーム・ビルディング、組織開発（OD）、人材開発（HRD）におけるアクション・リサーチ。

◆理事 大森黎二（株式会社ヒューマンライフセンター）

1942 年年生まれ。慶応義塾大学卒業後、同大学院で社会心理学を修め、その後 25 年間、行動科学を学ぶ。センターを主宰する傍ら、産能短期大学非常勤講師として行動科学を担当。グループ ダイナミクス、T・グループ、ゲシタルトセラピー等各種ワークショップの研究、組織開発等の小集団研究、および個人の人的成長と人的環境の相互作用の研究に取り組む。自身が主催する公開セミナーヒューマングループは現在までに 370 回以上開催。

2. 海外の OD ネットワークについて

■米国：OD Network（ODN）

1964 年に NTL がワーナーパークのリーダーシップ下で Industrial Trainers Network を設立し、その後 ODN へ名称を変更し、67 年に年次大会を開いたのが最初とされる。会員は約 4000 人。

全米の地域別に 50 ほどの地域ネットワーク（リージョナル）があり、また国際的なネットワークもあり、組織開発の実践交流に関しては中心的な存在。これら地域レベルの定期的交流活動の蓄積が年次大会に結びついており、2009 年のシアトル年次大会は、主催者によれば 3000 人以上集まったとされる。3000

人程度の会員を持つ AOM（アカデミーオブマネジメント）の OD&C（組織開発と変革）部門と ODN のメンバーは重なるが、リサーチャー中心の AOM に対して実践志向の大学研究者と組織変革コンサルタントが ODN を中心に相互交流する点で違う。

■欧州：International OD Associations（IODN）

1986 年設立。70 年代にドナルドコールが設立した OD Institute の年次大会"World Congress"が 84 年にイスラエルで開催されたのをきっかけに、ヨーロッパやアフリカの 13 カ国から集まったメンバーが、米国中心の OD ではなく、欧州の歴史・文化にふさわしい OD の実践を通じて人間と組織の発展に貢献するアソシエーションを設立したのが始まり。その後アソシエーションは発展して、50 カ国で構成される規模になり、世界各地で年次大会を開き、2011 年度はハンガリーで、12 年度はブラジルを開催予定。米国 ODN と同じく国際的な連携を強めるために 04 年には米国 ASTD(American Society for Training & Development)とグローバルパートナーシップを、08 年に中国に IODA China を設立し、09 年には米国 ODN と相互の会員優待を柱とするシスターリレーションシップを締結。

■アジア：Asia OD Network（AODN）

自立した社会発展の必要性を感じていたインドのウダイ、モハンを出発点として、米国 NTL と連携を持つインド応用行動科学学会の資金協力の下で、OD コンサルタントやリサーチャーが相互に交流するグローバル OD サミット(GODS)を 2005 年に企画。その後 06 年の大会のためにウダイらがインド Infosys をスポンサーに、またローランドサリバンが、米国のマイケルビアら著名人をゲストとして呼び込んで、06 年 GODS は成功のうちに終了。期間中に GODS を恒久化した組織として AODN が構想され、インドのモハン、シンガポールのダグラス、中国のリールイ、マークらが、中国瀋陽にある江蘇大学（米国ベネディクティン大学と提携）を会場として 2007 年に年次大会を開き、08 年にはシンガポール、09 年インドハイデラバード（IODA と AODN 共同開催）と続き、10 年はフィリピンで開催予定。